

表記例 (a) : a児の実態に該当する項目 【a】 : a児の本時の目標の根拠とする項目

教科の目標			
表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活の中の音や音楽に興味や関心をもって関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知・技	(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。		
思・判・表	(2) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。		
学び	(3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。		
段階の目標	1 段階	2 段階	3 段階
知・技	ア音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。 (a) (c) (d) (e)	ア曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (b) (f) (g)	ア曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
思・判・表	イ音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。 (a) (c) (d) (e)	イ音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 (b) (f) (g)	イ音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
学び	ウ音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。 (a) (c) (d) (e)	ウ音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。 (b) (f) (g)	ウ音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
内容	1 段階	2 段階	3 段階
A 表現	ア音楽遊びの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。 (g) 【c】	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつこと。
	(イ) 表現する音や音楽に気付くこと。 (a) (c) (d) (e) 【a】 【d】	(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗曲の特徴的なリズムと旋律 ㉘曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉	(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わり ㉘曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わり
(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗音や音楽を感じて体を動かす技能 (a) (c) (d) (e)	(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能 ㉘自分の歌声に注意を向けて歌う技能	(ウ)思いに合った歌い方で歌うために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする技能	

①音や音楽を感じて楽器の音を出す技能 (d) (e) (g) 【c】【e】 ⑦音や音楽を感じて声を出す技能	⑦教師や友達と一緒に歌う技能	①自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌う技能 ⑦教師や友達と一緒に声を合わせて歌う技能
---	----------------	---

内容	1段階	2段階	3段階
A 表現		イ楽器の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ楽器の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア)楽器表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。(f)	(ア)楽器表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、楽器表現に対する思いをもつこと。【f】
		(イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦拍や曲の特徴的なリズム (b) (f) (g) ⑧楽器の音色の違い (b) (f)	(イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦リズム、速度や強弱の違い (f) ⑧演奏の仕方による楽器の音色の違い
		(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦節奏を聴き、模倣をして演奏する技能 (f) 【g】 ⑧身近な打楽器を演奏する技能 (b) (f) 【b】 ⑨教師や友達と一緒に演奏する技能 (f) 【g】	(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能 ⑧身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能 ⑨教師や友達の楽器の音を聴いて演奏する技能 【f】
		ウ音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。 ⑦遊びを通して、音の面白さに気付くこと。 ⑧音や音楽で表現することについて思いをもつこと。	(ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。 ⑦音遊びを通して、音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たりすること。 ⑧どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつこと。
		(イ)次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどに触れて気付くこと。 ⑦声や身の回りの様々な音の特徴 ⑧音のつなげ方の特徴	(イ)次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどと関わって気付くこと。 ⑦声や身の回りの様々な音の特徴 ⑧簡単なリズム・パターンの特徴
		(ウ)気付きを生かした表現や思いに合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦音を選んだりつなげたりして、表現する技能 ⑧教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能	(ウ)気付きや発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦音を選んだりつなげたりして表現する技能 ⑧教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能

内容	1段階	2段階	3段階
A 表現		エ身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。	(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。
		(イ) 次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ 拍や曲の特徴的なリズム ㉘ 曲名と動きとの関わり	(イ) 次の㉗及び㉘の関わりについて気付くこと。 ㉗ 曲のリズム、速度、旋律 ㉘ 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部
		(ウ) 思いに合った動きで表現するために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。 ㉗ 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技能 ㉘ 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かす技 ㉙ 教師や友達と一緒に体を動かす技能	(ウ) 思いに合った体の動きで表現するために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。 ㉗ 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能 ㉘ 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能 ㉙ 教師や友達と一緒に体を使って表現する技能
B 鑑賞	ア音楽遊びの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする事 (e)	(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くこと。 (f) (g)	(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くこと。
	(イ) 聴こえてくる音や音楽に気付くこと。 (a) (c) (d) (e)	(イ) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けること。 (b) (f) (g)	(イ) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くこと。
共通事項	(イ) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
	ア音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。		
	イ絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。		